



第14位 父に続く無敗の三冠馬

11318 P

NEW

コントレイル

2017年4月1日生 牡 青鹿毛
父ディーブインパクト
母ロードクロサイト(父Unbridled's Song)
馬主/前田晋二氏
調教師/矢作芳人(栗東)
生産牧場/㈱ノースヒルズ
通算成績/11戦8勝
総収得賞金/11億9529万4000円
主な勝ち鞍/21ジャパンC(G I)
20菊花賞(G I)
20日本ダービー(G I)
20皐月賞(G I)
19ホープフルS(G I)
20神戸新聞杯(G II)
19東京スポーツ杯2歳S(G III)
馬名の由来/飛行機雲

コロナ禍の競馬界に
活気を与えたスターホース

2020年、コントレイルは皐月賞、日本ダービー、菊花賞を制し、史上8頭目の三冠馬に輝いた。7戦全勝。父ディーブインパクトに続く史上初めての親仔2代三冠制覇を、これまた父と同じ無敗で達成した。世界的に見ても例のない大記録になった。

20年は新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るった。国内でも大きな影響を受けた。7月に開催予定だった東京オリンピック・パラリンピックが1年延期された。競馬も例外ではなかった。2月末から無観客開催が始まった。ただ競馬はスターホースが次々と現れ、活気にあふれた。コントレイルと同じ年のデアリングタクトが桜花賞、オークス、秋華賞を制して史上6頭目の牝馬三冠を達成した。牡馬と牝馬の

三冠馬が同時に、しかも無敗で誕生するのは初めてのことであった。

そればかりか、スターホースの対決が実現した。20年11月のジャパンCには、2歳年上の牝馬三冠馬アーモンドアイが引退レースとして出走。「三冠馬」3頭が相まみえるという空前絶後とも思えるゴールデンカードが現実のものとなった。優勝したのはアーモンドアイ。コントレイルは厳しい日程だったにもかかわらず2着を確保。3着のデアリングタクトに先着した。

21年のジャパンC優勝を最後に種牡馬入りしたコントレイルへの期待は高まるばかりだ。23年にセレクトセールに20頭の当歳産駒が出場すると5億2000万円(税別)の最高価格馬を筆頭に全馬が落札された。24年のセレクトセールでも1歳、当歳合計33頭が完売。平均価格は1億円を超えた。父に続くリーディングサイヤーを目指す。

年代別・性別ランキング 10代・20代から票を集める

●10代……5位	●60代……22位
●20代……8位	●70代……16位
●30代……15位	●男性……13位
●40代……15位	●女性……15位
●50代……18位	

Voter's Voice

無敗の三冠馬の産駒から出た無敗の三冠馬。世界でも唯一無二の存在(40代・男性)●ジャパンCは印象的で、福永元騎手の涙は忘れられません。競馬を始めてまだ数年ですが、初めて感動したレースでした(30代・男性)●コロナ禍の日本に元氣と勇氣をありがとう(20代・男性)●ラストラン、夕陽の中の勇姿が忘れられません(50代・男性)●未長く産駒やその先まで応援し続けたいと思える存在(20代・男性)